

守山保護区（守山市・野洲市）保護司会

# 保護司だより

事務局：守山・野洲 更生保護サポートセンター 第39号

〒520-2413 野洲市吉地1131番地 中主地域包括支援センター内 TEL・FAX 077-584-5702

守山保護区保護司会は  
社会を明るくする運動や  
更生保護活動を  
守山市・野洲市と共に  
取り組んでいます

## 保護司信条

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもつて  
一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に  
尽くします。  
二、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、  
犯罪や非行の予防に努めます。  
三、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

は、平素から更生保護の諸活動に御尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

また、平素から更生保護に御理解と御協力をいただきております皆様方に厚く御礼申し上げます。

本年5月、大津市で保護司として活動されていた方が、お亡くなりになる大変痛ましい事件が起こったことは、誠に痛恨の極みであり、哀惜の念に堪えません。

この事件について、故人が担当していた保護観察中の者が殺人容疑で逮捕されたとのマスコミ報道がなされていることは、更生保護関係者のみなさず多くの方々が御承知の



大津保護観察所 所長

宮山 芳久

## 安全・安心な地域社会を目指して

ことかと思います。この原稿を執筆している時点では裁判も始まっておらず、事件の詳細は明らかとなっていませんが、保護観察所職員をはじめ法務省が一丸となつて保護司の皆様方が安全で安心して活動いただける環境を整備し、また、保護観察処遇の一層の充実を図り、再犯のない安全で安心な地域社会の実現に全力をつくしていく所存であります。

さて、毎年七月は、「社会を明るくする運動」の強調期間であり、各地で様々な広報啓発活動が展開されました。この運動の趣旨は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行を行った人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行の

ない安全で安心な明るい地域社会を築こうとするものです。が、「更生について理解を深め」という部分は、更生保護関係者以外の方々にとつてかと思います。ましてや、一般的な話として、殺人のような凶悪事件が発生して大きく報道されているようなタイミングと重なると、尚更のことかと思います。

もちろん、犯罪をした人た

ちの更生には、犯罪の責任等を自覚し、犯罪被害者的心情等を理解し、自ら社会復帰のために努力することが必要ですが、同時に、多様化が進む社会において孤立することなく、再び社会を構成する一員となることができるよう取組も必要となります。

「犯罪のない〇〇市」といったフレーズは、官公庁等の広報でしばしば見掛けると思います。これを見た時、特殊詐欺の被害防止活動や子どもが犯罪に巻き込まれないように対するための見守り活動等を思ふ方も多いと思いま

す。もちろん、このような取組は大切ですが、他方、犯罪をしてしまった人が二度と犯罪をしないように更生を支えていくことも大切であり、再犯を防止することは、安全で安心な地域社会づくりに繋がることになります。

今後とも、更生保護活動に

対し、御理解・御協力を賜ります。

そして、このようないい

ことは、保護観察所や更生保護

する上で不可欠なものといえます。そして、このようないいこ

とは、保護観察所や更生保護

する上で不可欠なものといえます。そして、このようないいこ

守山・野洲保護司会は、更生保護女性会や行政、関係団体と協力して、市長へのメッセージ伝達、街頭啓発、地域の小中学校との連携や会議などを再開しました。

**社会を明るくする運動って?**

犯罪や非行のない明るい社会を築くことは、すべての人々の願いでもあります。また、犯罪や非行した人たちの更生に理解を深めることもとても大切な事です。

罪を犯した人をこの国の法律によつて処罰することは決まりですが、大切なことは、犯罪や非行で罪を犯した人が罪を償い立ち直ることができるようになります。そして犯罪や非行が起こらないような社会を作る事も大切な事なのです。その為には私たち国民の更生に対する正しい理解を深める事です。

今年で第74回目を迎える「社会を明るくする運動」は戦後間もない昭和26年に始ま

ります。

戦後の混乱で社会規範が乱れる中、青少年の将来を危惧した人たちによって始められ、その後法務省によつて全国的な運動となつていつたのです。

この運動は一年を通して行われていますが特に強調月間の7月は全国各地で、いろいろな団体や住民が更生に理解を深める為の活動をされています。

## 社会を明るくする運動って?

守山・野洲保護司会は、更生保護女性会や行政、関係団体と協力して、市長へのメッセージ伝達、街頭啓発、地域の小中学校との連携や会議などを再開しました。

今年7月は、第74回「社会を明るくする運動」の強調月間として、「生きづらさを、生きていく。」をスローガンに全国で運動を展開しています。

# 「社会を明るくする運動」

## 市長への伝達

今年も守山・野洲保護司会のメンバーと更生保護女性会の会員が、それぞれの市役所を訪問しました。

守山市は、7月1日に森中高史市長に、野洲市は7月2日に栢木進市長に『社会を明るくする運動』の内閣総理大臣からのメッセージ伝達を行いました。

伝達の後は、今年

5月に大津市で保護司が亡くなつた事件を受け、保護司会から対象者との面接等で公共施設を利用できること、行政に対して協力をお願いす

るなど、限られた時間の中で有意義な情報共有をすることができました。

(写真は両市それ

## 街頭啓発



守山市は、7月1日にモリーブで、7月12日には守山駅前にて、野洲市は、7月2日にアルプラザ野洲店、イオンビックエクストラ野洲店にて皆さまに直接啓発グッズを手渡す活動を行いました。

活動の中で、『社会を明るくする運動』って何をするのですかと聞かれ、直接説明させて頂く場面もありました。今後も皆さんに知つて頂ける有効な機会として、活動を展開していきたいと思います。（守山市では森中市長も活動に参加して頂きました。）



各学校により対応して頂いたのは、校長先生・教頭先生・生徒指導の先生方で、地区の担当保護司がポスターや、第73回の入賞作文集をもって伺いました。

今年も守山・野洲保護区内、2市24校の小中学校を訪問しました。子ども達を非行や犯罪から守るために、幼い時から私たち大人が見守り、学校と地域が連携して、子ども達が健全に成長出来るように支援して行きました。

今年も守山・野洲保護区内、2市24校の小中学校を訪問しました。

子ども達を非行や犯罪から守るために、幼い時から私たち大人が見守り、学校と地域が連携して、子ども達が健全に成長出来るように支援して行きました。

## 学校訪問



7月19日、守山市民ホールにて、映画「記憶2」鑑賞研修会を開きました。

去年度と同じく、守山市と野洲市の民生委員児童委員の方も関心を持って参加してくださいました。さらに、行政、教員、市会議員、県会議員、一般の方も関心を持って参加してくださいました。守山市民児協50人、野洲市民児協48人、守山地区更女36人、野洲地区更女18人などなど合わせて209人の参加でした。

映画「記憶2」は多摩少年院に入院した4人の少年への

犯罪をした少年たちの生活などの背景を知ることができます。

犯罪をした少年たちの生活などの背景を知ることができます。たと、上映を評価してくださいました。少年たちの犯罪から、大人たち、家族、社会の責任の大切さを、自分ごとにして捉えようという感想も多

くありました。

生きづらくて、人のつながりが希薄と言われる時代です。炎天下の出にくい折柄、わざわざこの映画会にお越しください、深く思つてください。方々がこんなにもいらっしゃると、感じました。心強いです。今後も、地域の更生保護をともに進めましょう。

次回の協力組織部会の事業は、かつて保護観察を受けたことのある青年の体験談を中心としたセミナーを予定しています。この記事を読んでいた頃は準備の真っ最中です。どうぞ、次回の事業もご支援をお願いします。

## 『記憶2から更生保護へ』

協力組織部会 畠中 寿子

また、去年も今年もですが、映画の感想や実際の保護司法活動に関連した話し合いをしたとの提案がありました。た

だ、私たち協力組織部員の少ない力では対応しきれないのが現実です。各地区で、小単位で、実現していく方向はいかがでしょう。現に、幾つかの地区の集まりに、保護司が加わったと聞きます。

この紙面では紹介しきれないので、アンケートのまとめは、各団体に届けましたのでご覧ください。

生きづらくて、人のつながりが希薄と言われる時代です。炎天下の出にくい折柄、わざわざこの映画会にお越しください、深く思つてください。方々がこんなにもいらっしゃると、感じました。心強いです。今後も、地域の更生保護をともに進めましょう。

次回の協力組織部会の事業は、かつて保護観察を受けたことのある青年の体験談を中心としたセミナーを予定しています。この記事を読んでいた頃は準備の真っ最中です。どうぞ、次回の事業もご支援をお願いします。

## 保護司のつぶやき

### 【一人ひとりに寄り添い続ける】

渋谷成子

保護司の大任を押してから5年目になります。

保護司の委嘱を受けた当日に、青年の対象者をお受けすることになりました。当時は、コロナ禍だったので、リモートでの面接と生活環境調整から始まりました。わからないことばかりで、不安や困難なことなどは、監察官に連絡し、相談をしながら進めてきました。

私が、面接するときに、心がけていることはまず、対象者の話を傾聴する事、次に、良いとこ探しをすることです。

あるとき、「家族の方に「彼の良いところはどこですか?」「自分でほめることがありますか?」とお聞きしたところ「そんなこと、考えたことがない」とお聞きしされたとき、彼がニッコリとした笑顔が印象に残っています。

それから、信頼関係ができ会話をしながら本人が話しゃ

れば、これまで抱えてきた課題や現在困っていることなど振り返りながら聞かせてもらっています。

これまでの対象者の彼らが、共通して臨んでいることは、「子どものころに戻つて学びなおしたい!」です。もう一度、勉強がしたいと訴えています。

これからも、未来のある彼らに、幸せになつていただきたいとの思いで、微力ですが精進していきたいと思っています。

### 信じて寄り添う

岡野孝子

保護司をお受けして4年目を迎えます。活動のための研修等の機会をいただいてきましたが、初めて担当する時は緊張と不安でいっぱいでした。しかし先輩保護司の方と複数担当だったので安心し、面接を行つたことを思いだし

先輩保護司は何気ない日常会話をしながら本人が話しゃ

すい雰囲気になつたところで、生活状況等について質問されていきます。私も会話を加わり面接を進めることができましたし、相手との向き合い方も学ばせていただきました。

面接は立ち直りを支援する活動です。話好きの対象者もいれば話が進まない相手もいます。面接の回数を重ねることで良い関係がつくれるようになります。面接の回数を重ねることで良い関係がつくれるようになります。面接の回数を重ねることで良い関係がつくれるようになります。面接の回数を重ねることで良い関係がつくれるようになります。

- ・更生保護関係団体との連携
- ・更生保護女性会総会に参加
- ・更生保護女性会との合同研修会の実施
- ・三(集会への参加
- ・地方公共団体、その他の関係団体との連携
- ・各市青少年育成市民会議への参加
- ・小、中学校との連携
- ・各地区補導(委)員との連携
- ・各市所管課との協議会開催
- ・社会福祉協議会との連携

## 事業計画

### 社会を明るくする運動

・社明ボスターの掲示

・各市長へメッセージの伝達

・街頭啓発活動

### 更生保護関係団体との連携

・更生保護女性会総会に参加

・更生保護女性会との合同研修会の実施

・三(集会への参加

### 地方公共団体、その他の関係団体との連携

・各市青少年育成市民会議への参加

・小、中学校との連携

・各地区補導(委)員との連携

・各市所管課との協議会開催

・社会福祉協議会との連携

パリオリンピック・パラリンピック2024、夏の高校野球も終わりました。

## 編集後記

なかベストを尽くされた選手、アスリートの皆様から多くの感動と勇気をいただきました。

さて、今号では第1面で、大津保護観察所長から、本年5月、大津市で我々の同志である保護司が殺害された事件を受けて、保護司活動の安全確保に対する環境整備についてと地域社会における再犯防止のための更生保護活動について述べていただきました。

- ・大津の保護司が亡くなられた事件を受け、私が保護司をしていることを知る人から「大丈夫?」と声をかけていたときました。やはり犯罪や非行をした人とかかわることに不安はあります。しかし「自宅に伺つて大丈夫ですか」と対象者から言われたときに、「彼らも気にしている」ことに気づきました。罪を犯してしまつたけれどもう一度やり直したいと思つて日々生活している人が、生きづらくならないように私は保護司としている人には変わると信じて寄り添い続けたいと思っています。

### 各種研修会の実施

・定例研修会への参加

・協力雇用主会との研修会

・自主研修会の実施

・処遇研修の実施

・新任保護司との懇談会

### 更生援助活動

・協力雇用主の開拓

・定例研修会への参加

・協力雇用主会との研修会

・各地区補導(委)員との連携

・各市所管課との協議会開催

・社会福祉協議会との連携

### 広報活動

・保護司会報の発行・配布

・保護司会報の全戸回覧

### 社会貢献活動への協力・推進

・企画調整保護司会議、理事

・会等の開催

第4面は保護司のつぶやきと事業計画を掲載しました。更生保護の活動は、地域の様々な機関や団体、人の力添えがあつてこそ成り立ちます。今後も皆さまのご理解とご協力を宜しくお願い致します。